

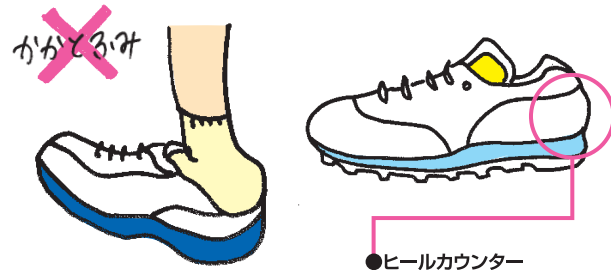
# シューズのかかととは踏まないでください。濡れた路面などでの転倒にご注意ください。

## ⚠️ シューズを履く(脱ぐ)ときのご注意

シューズの保護機能でもっとも重要な役割を果たしているのが、かかと部に内蔵されているヒールカウンター(※)です。かかと部を踏むとヒールカウンターが変形し、シューズの内部が破れたり、足を傷つける場合があります。また、ヒールカウンターの変形により、シューズの持つ機能を十分に発揮することができなくなります。  
※シューズのヒールカウンターは、一般的に硬い素材を使用しています。

### ● シューズを履くときは

シューズを履くときは、必ず靴ひもを十分に緩め、足を入れてください。靴ひもを緩めずに、強引に足を入れると、かかと部の変形や破損につながります。無意識でも、かかと部の上に足を乗せてしまうことを繰り返すと、弱い圧力でもヒールカウンターが変形しますので、ご注意ください。ヒールカウンターの変形は元に戻せません。



### ● 靴ひもは正しく通して、適度に締め、しっかりと結んでください。

靴ひもは、シューズと足を一体化させる、重要な役割を持っています。間違った通し方や締め具合が緩い場合には、シューズの中で足が動き、足を傷つけたり、捻挫や転倒などを招くことがあります。締め具合がきつすぎると、血流を妨げ、足のむくみにつながります。結んだ靴ひもが余りすぎる場合、踏んだり、ほだけたりすることがありますので、短いものに交換することをおすすめします。

### ● シューズを脱ぐときは

シューズを脱ぐときも、履くときと同様に靴ひもを十分に緩めてください。靴ひもをほどかずに、シューズをかかとに引っ掛けて強引に脱ぐと、ソールが破れたり、シューズが破損することがあります。

## ⚠️ お楽しみいただくスポーツに適したシューズをお選びください

特にスポーツシューズはそのスポーツの用途・特性に適した設計をしており、使用素材や構造がそれぞれ異なります。用途に合わせてお選びください。なお、使用用途以外でのご使用は、シューズ本体の破損だけでなく、不測の事故につながるおそれがありますので、転用はお避けください。また、ルールに適合したシューズの使用を規定している競技や、施設、大会によってはそのスポーツシューズを構造やデザイン上の問題などで使用を拒否される場合がありますので、ご注意ください。

### 主な具体例

- ランニングシューズ、ウォーキングシューズなどでゴルフの素振りや練習場での打放しなどをすると、ソールがはがれることがあります。
- ランニングシューズで、バレーボールなどの室内競技をすると、ソールがはがれたり、体育館の床を傷めるおそれがあります。
- ランニングシューズなどでコンクリートのような硬い路面でキャッチボールやサッカーなどをすると、ソールがはがれたり、アッパーが破損することがあります。
- 室内用シューズで、屋外の競技をすると、滑ることがあります。
- 野球や陸上などのスパイク付きのシューズをグラウンド外で履くと、滑ってけがをするおそれがあります。
- サッカーシューズで野球をすると、つま先などのアッパーが破れることがあります。
- 防水仕様ではないシューズを雨天に使用するとアッパーやアッパーとソールの接続部などから水が浸入する可能性があります。水の浸入を防ぐには防水仕様のシューズをお選びください。ただし、防水仕様のシューズでも履き口などからの水の浸入は防げません。
- 登山やハイキングには、安全のため、専用のシューズを使用しましょう。
- スパイク付きのゴルフシューズを、ゴルフ以外で使用すると、シューズを傷めるだけでなく、けがにつながることがあります。
- 自転車、三輪車などでつま先を路面に擦り付けて止まる行為は、ソールのはがれにつながります。



この他にも様々な事例がありますが、使用用途以外でのご使用は、シューズの寿命を縮めたり、けが、あるいは施設を破損するおそれがあります。十分にご理解のうえでご使用ください。尚、スポーツシューズを普段履きとしてご使用される場合には、社会生活の中で起こりうる危険に対して、すべてに対応できるわけではないことをご承知おきください。

## ⚠️ 濡れた路面は滑りやすく、転倒するおそれがあります！

ソールの材質やデザインにかかわらず、濡れた路面では乾いた路面よりも滑りやすくなります。雨天などで濡れた路面を歩く場合は、転倒などの危険がありますので十分ご注意ください。

### 【こんな路面は特に注意!】



- マンホールや溝の蓋、踏切など、樹脂や金属製の路面
- 駅やホテルに多いタイルや大理石などの平滑な路面、横断歩道のペイント部分



このような路面は、濡れた状態では、特に滑りやすくなります。また、階段や坂道などでは、さらに滑りやすくなるので大変危険です。

## 滑りやすいところを歩くときには！

### ● 路面の変化にご注意ください！

乾いた路面から濡れた路面への移動など、路面の変化に気づかずに足を踏み出すと、思わぬ転倒につながり大変危険です。雨天などにお出かけの際は、路面の変化に十分注意しながら歩行してください。

### ● 急激な動作は禁物です！

滑りやすい路面上で急に立ち止まったり、急な方向転換を行ったりしたときには、思わぬ転倒につながり大変危険です。雨天などにお出かけの際は、時間と心に余裕を持った行動で、急な動作を避けてください。また、傘や手荷物などを持っている場合は体のバランスが取りづらくなりますので、特にご注意ください。

### ● シューズの状態にもご注意ください！

ソールがすり減っていると、本来のグリップ性が発揮できなくなります。特に雨天などで滑りやすい路面上では突然滑ることがありますので、ソールがすり減ったシューズをご使用の場合は十分に気をつけて歩行してください。

### < 防水仕様のシューズについて >

防水仕様のシューズとは、アッパーやアッパーとソールの接続部などから水が浸入しにくい構造のシューズです。濡れた路面等で滑りにくい構造のシューズではありません。雨天時や濡れた路面の歩行には十分ご注意ください。